

2017年3月期 第2四半期(上期) 決算説明



2016年12月9日(金)
株式会社昭文社
証券コード:9475

資料の内容

- 1 2017年3月期 第2四半期(上期) 連結決算概要 P3-11
- 2 2017年3月期 通期 業績の見通し P12-16
- 3 参考資料 P17-20

【本資料の記載数値・内容について】
百万円未満は切り捨てております。
%表示は小数第1位未満を四捨五入しております。
第2四半期累計期間を上期と表記しております。

【本資料の内容についてのお問い合わせ先】
株式会社昭文社 取締役 経営管理本部長 大野真哉
電話 03(3556)8171

資料の内容

1 2017年3月期 第2四半期(上期) 連結決算概要

2 2017年3月期 通期 業績の見通し

3 参考資料

2017年3月期 上期 連結決算概要

市販出版物の返品大幅増加や大型シリーズの新規立ち上げ、全面改訂等がなかったことの影響を受けて、売上高は12億79百万円の大減。減収の影響で損失も拡大

	2016年3月期 上期実績	2017年3月期 上期実績	増減額	増減率	2017年3月期 (期首予想)	増減額 (予想比)
売上高	6,030	4,750	-1,279	-21.2%	5,340	-589
営業損失 (売上高比、以下同)	-449 -7.4%	-1,000 -21.1%	-551	-	-440 -8.2%	-560
経常損失	-426 -7.1%	-959 -20.2%	-533	-	-410 -7.7%	-549
親会社株主に帰属する 四半期純損失	-443 -7.4%	-963 -20.3%	-519	-	-420 -7.9%	-543
1株当たり四半期純損失 (円)	-26.69	-57.92	-31.23	-	-25.26	-

※上記予想は2016年5月13日発表

2017年3月期 上期 分類別売上高(前年同期比)

電子売上の減収は、PND¹の売上減少に加え、以前から継続受注していた大型案件の失注を補うための新規案件の獲得が進まなかったことが主な要因

単位:百万円

	2016年3月期上期		2017年3月期上期		増減額	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
電子売上	1,671	27.7%	1,351	28.5%	-320	-19.2%
手数料収入	17	0.3%	20	0.4%	2	12.4%
市販出版物合計	3,782	62.7%	2,837	59.7%	-945	-25.0%
地図	1,292	21.4%	859	18.1%	-432	-33.5%
雑誌	1,783	29.6%	1,526	32.1%	-257	-14.4%
ガイドブック	619	10.3%	437	9.2%	-182	-29.4%
実用書	86	1.4%	13	0.3%	-72	-83.9%
特別注文品	230	3.8%	245	5.2%	15	6.8%
広告収入	327	5.5%	296	6.2%	-31	-9.5%
合計	6,030	100.0%	4,750	100.0%	-1,279	-21.2%

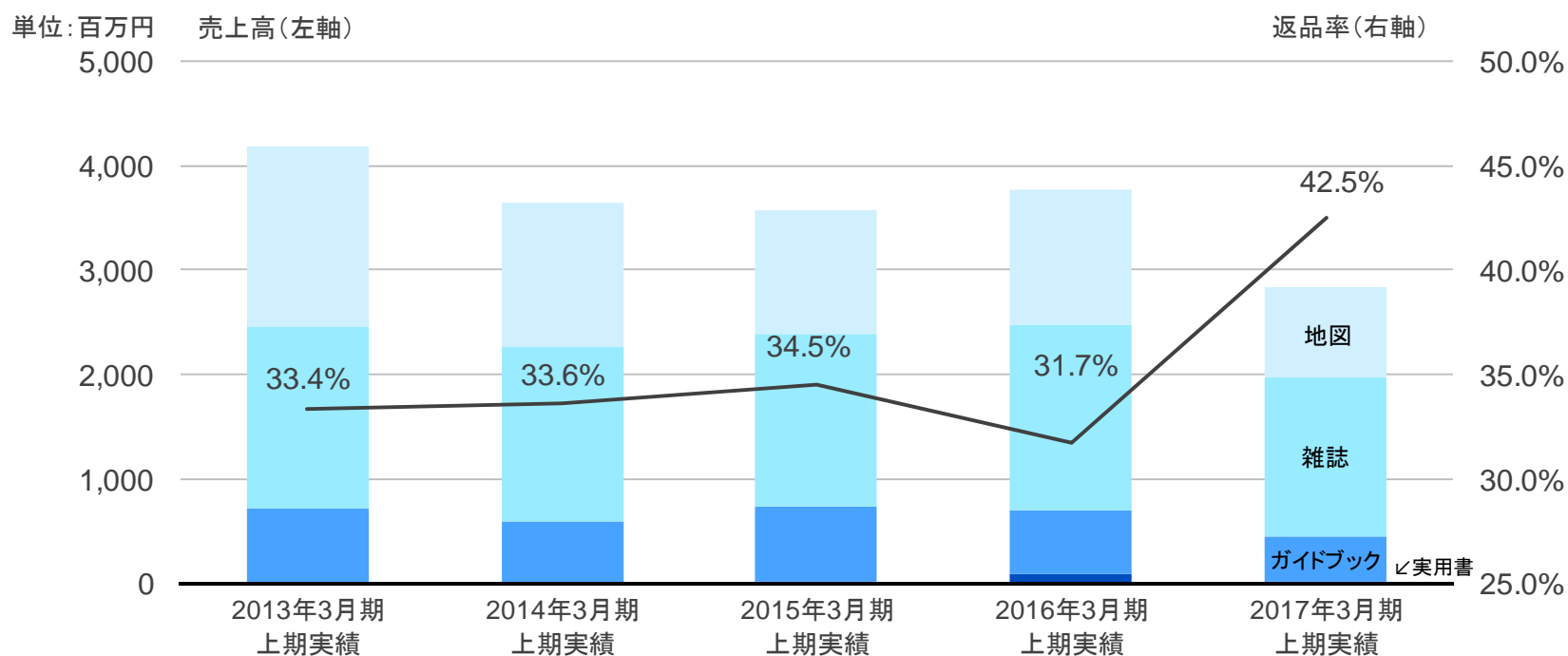
¹ PND…簡易型カーナビゲーション

2017年3月期 上期 ハイライト

- 売上高は前年同期比12億79百万円の減少
 - 電子売上は、PND関連の売上減少に加え、大型案件の非継続の影響を補えなかったこともあり、前年同期比で3億20百万円減少
 - 市販出版物の売上は、返品大量発生の影響を受けて、前年同期比9億45百万円の大幅な減少
- コスト削減に取り組んだが、減収の影響をカバーするには及ばず、前年同期を上回る営業損失、経常損失、四半期純損失を計上
- インバウンド事業に関連する「旅行関連プラットフォーム提供事業」を行う株式会社トリプコンは、第1四半期から連結対象

2017年3月期 上期 市販出版物売上高・返品率の推移

前期末の改訂商品の出版に伴う旧版商品の返品が第1四半期に大量に計上され、返品率は大幅に悪化

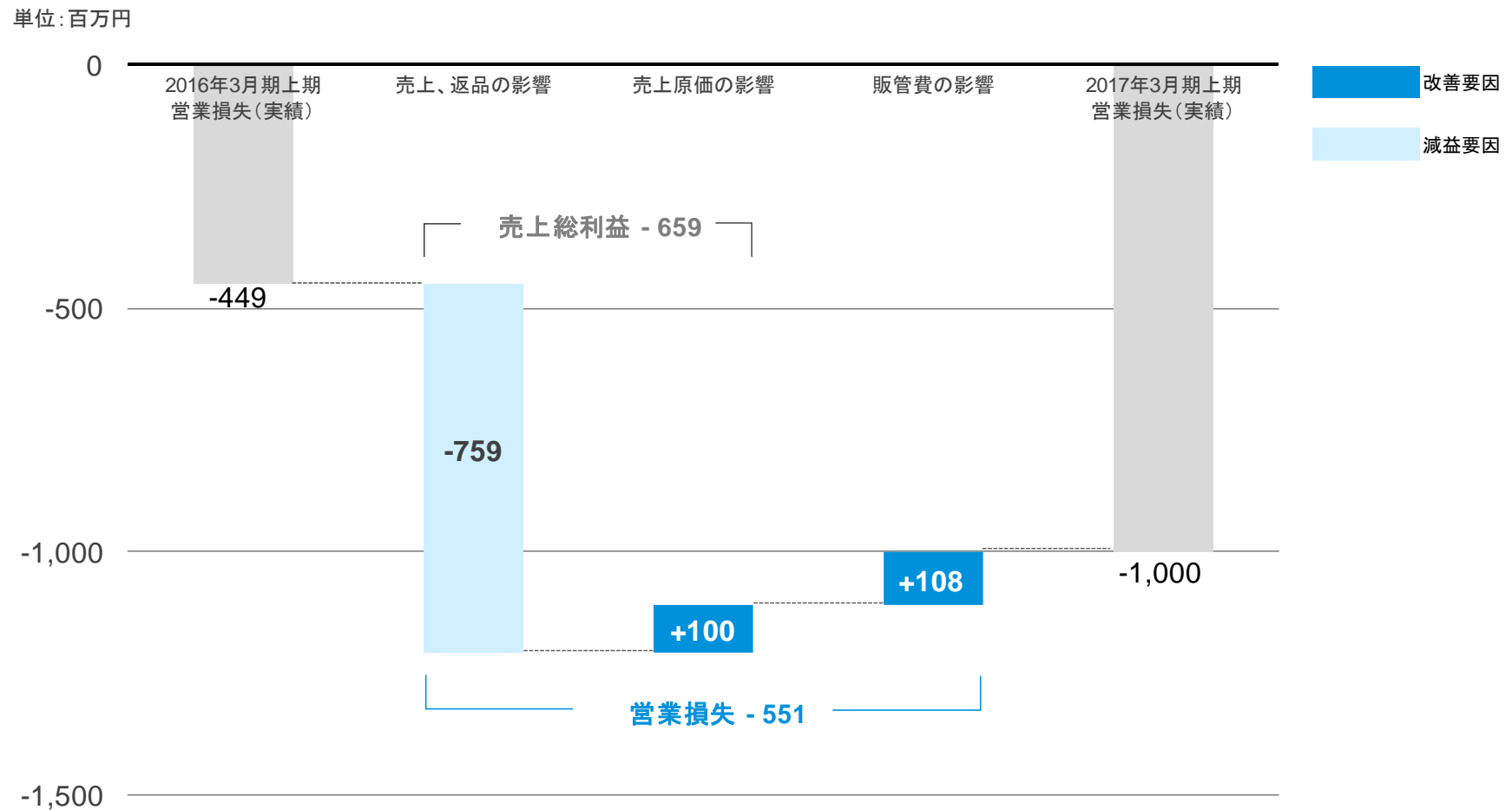


単位：百万円

市販出版物売上高合計	4,193	3,638	3,576	3,782	2,837
地図	1,735	1,382	1,189	1,292	859
雑誌	1,739	1,661	1,646	1,783	1,526
ガイドブック	715	586	727	619	437
実用書	3	8	13	86	13
市販出版物返品率	33.4%	33.6%	34.5%	31.7%	42.5%

2017年3月期 上期 営業損益の増減分析(前年同期比)

原価・販管費の削減に努めたものの、売上減少、返品増加の影響がそれらを大きく上回り、営業損失は拡大



2017年3月期 上期 販管費・設備投資額・償却費の状況

退職給付費用以外の販管費項目は全般的に減少。設備投資は、インバウンド事業関連の戦略的投資を中心に実施

単位:百万円

	2016年3月期 上期実績	2017年3月期 上期実績	増減額	増減率
売上高	6,030	4,750	-1,279	-21.2%
販管費合計	2,145	2,037	-108	-5.0%
販売促進費	70	70	0	-0.6%
広告宣伝費	113	89	-23	-20.9%
従業員給与・賞与	686	671	-15	-2.2%
賞与引当金繰入額	184	155	-29	-15.8%
退職給付費用	36	71	35	97.3%
減価償却費	48	45	-2	-4.8%
研究開発費	63	38	-25	-39.5%
その他	942	895	-47	-5.0%
設備投資額合計	342	302	-40	-11.7%
有形固定資産	23	14	-8	-38.8%
無形固定資産	318	287	-31	-9.7%
償却費合計	154	195	41	26.7%
有形固定資産	88	83	-5	-6.2%
無形固定資産	65	112	46	71.3%

2017年3月期 上期 連結貸借対照表

売上債権が減少し、総資産は圧縮

単位:百万円

	2016年3月期 3月末		2017年3月期 9月末		増減額	増減主要因
	実績	構成比	実績	構成比		
資産合計	28,063	100.0%	25,580	100.0%	-2,482	
流動資産	17,191	61.3%	14,974	58.5%	-2,216	受取手形及び売掛金の減少
固定資産	10,871	38.7%	10,606	41.5%	-265	投資有価証券の減少
負債合計	6,410	22.8%	5,264	20.6%	-1,146	
流動負債	4,202	65.6%	3,065	58.2%	-1,136	支払手形及び買掛金、返品調整引当金の減少
固定負債	2,207	34.4%	2,198	41.8%	-9	
純資産合計	21,652	77.2%	20,316	79.4%	-1,336	
株主資本	21,293	98.3%	19,985	98.4%	-1,307	剰余金の配当及び四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少
その他の包括利益 累計額	332	1.6%	303	1.5%	-28	
新株予約権	27	0.1%	27	0.1%	0	
負債・純資産合計	28,063	100.0%	25,580	100.0%	-2,482	

2017年3月期 上期 連結キャッシュ・フロー計算書

売上債権の回収等が進み営業活動によるキャッシュ・フローは増加。投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出があり、支出増加

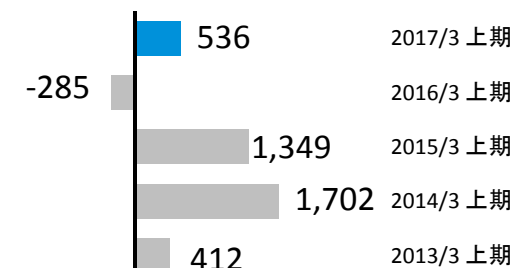
単位:百万円

キャッシュ・フロー 過去5年間推移

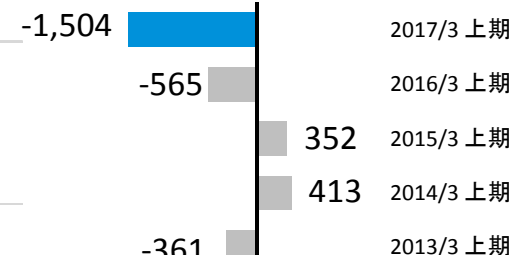
単位:百万円

	2016年 3月期 上期実績	2017年 3月期 上期実績	増減額	増減主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	-285	536	822	純損失の増加 -543 返品調整引当金の増減額の減少 -405 売上債権の減少額の増加 +1,398 仕入債務の減少額の減少 +297
投資活動による キャッシュ・フロー	-565	-1,504	-939	投資有価証券の売却による収入 +214 投資有価証券の取得による支出の減少 +109 有価証券の取得による支出 -1,303
財務活動による キャッシュ・フロー	-344	-345	0	
現金及び 現金同等物の 増減額(－は減少)	-1,195	-1,312	-117	
現金及び 現金同等物の 四半期末残高	10,586	8,913	-1,673	

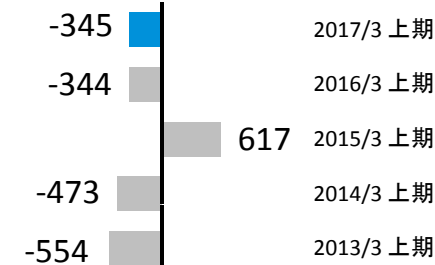
営業活動によるキャッシュ・フロー



投資活動によるキャッシュ・フロー



財務活動によるキャッシュ・フロー



資料の内容

1 2017年3月期 第2四半期(上期) 連結決算概要

2 2017年3月期 通期 業績の見通し

3 参考資料

2017年3月期 通期 業績予想の修正

上期の業績および今後の事業計画を踏まえて、10月28日、通期業績予想の修正を発表

単位：百万円

	2017年3月期通期予想 (5月13日 期首発表)	2017年3月期通期予想 (10月28日 発表)	増減額	増減率
売上高	12,360	11,580	-780	-6.3%
営業利益(営業損失) (売上高比、以下同)	60 0.5%	-1,200 -10.4%	-1,260	-
経常利益(経常損失)	110 0.9%	-1,140 -9.8%	-1,250	-
親会社株主に帰属する 当期純利益(親会社株主に 帰属する当期純損失)	80 0.6%	-1,150 -9.9%	-1,230	-

2017年3月期 通期 業績の見通し

上期の減収を補うことは難しく、通期決算も減収となる見込み。地図データベースの改善施策を当期中に行うこと等の影響で利益面も大幅に悪化する見通し

	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	13,035	11,580	-1,455	-11.2%
営業利益（営業損失） （売上高比、以下同）	306 2.4%	-1,200 -10.4%	-1,506	-
経常利益（経常損失）	363 2.8%	-1,140 -9.8%	-1,503	-
親会社株主に帰属する 当期純利益（親会社株主に 帰属する当期純損失）	538 4.1%	-1,150 -9.9%	-1,688	-
1株当たり当期純利益（円）	32.37	-69.16	-101.53	-
設備投資額合計	611	622	10	1.7%
有形固定資産	43	132	88	200.9%
無形固定資産	567	490	-77	-13.7%
償却費合計	328	450	121	36.9%
有形固定資産	182	172	-10	-5.6%
無形固定資産	146	278	131	89.9%
研究開発費	98	52	-46	-47.2%

単位：百万円

2017年3月期 通期 分類別売上高の見通し(前年同期比)

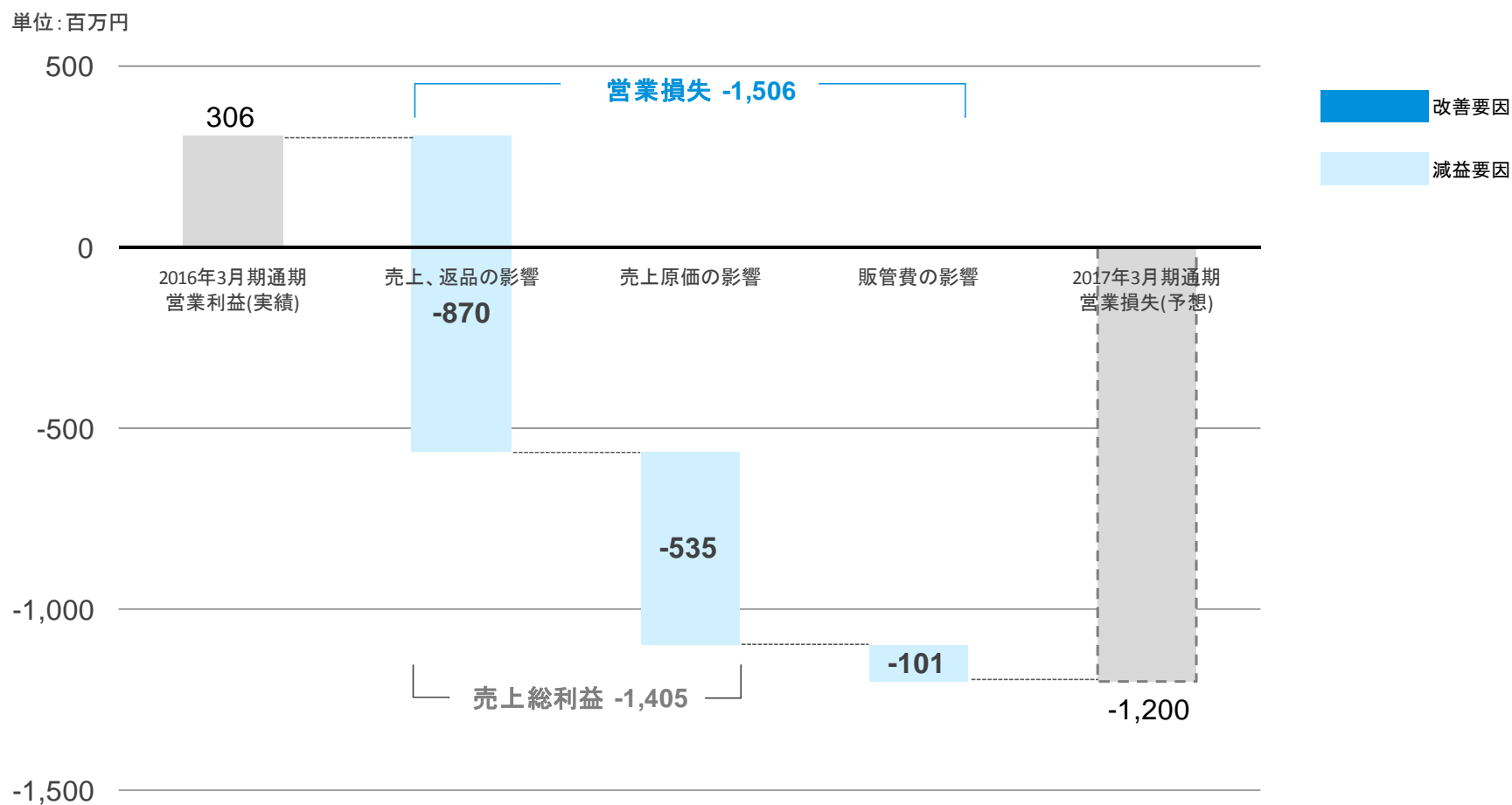
上期の返品増加を主な要因として、市販出版物は総じて減収の見通し

単位:百万円

	2016年3月期通期		2017年3月期通期		増減額	増減率
	実績	構成比	予想	構成比		
電子売上	3,503	26.9%	3,450	29.8%	-53	-1.5%
手数料収入	48	0.4%	55	0.5%	6	13.8%
市販出版物合計	7,950	61.0%	6,340	54.7%	-1,610	-20.3%
地図	3,206	24.6%	2,260	19.5%	-946	-29.5%
雑誌	3,281	25.2%	3,130	27.0%	-151	-4.6%
ガイドブック	1,246	9.6%	850	7.3%	-396	-31.8%
実用書	214	1.6%	100	0.9%	-114	-53.4%
特別注文品	732	5.6%	830	7.2%	97	13.3%
広告収入	801	6.1%	905	7.8%	103	12.9%
合計	13,035	100.0%	11,580	100.0%	-1,455	-11.2%

2017年3月期 通期 営業損益の増減分析(前年比)

減収見込みの局面での売上原価の増加は、地図データベースの根本的改善施策を当期中に実施するため



資料の内容

- 1 2017年3月期 第2四半期(上期) 連結決算概要
 - 2 2017年3月期 通期 業績の見通し
-

3 参考資料

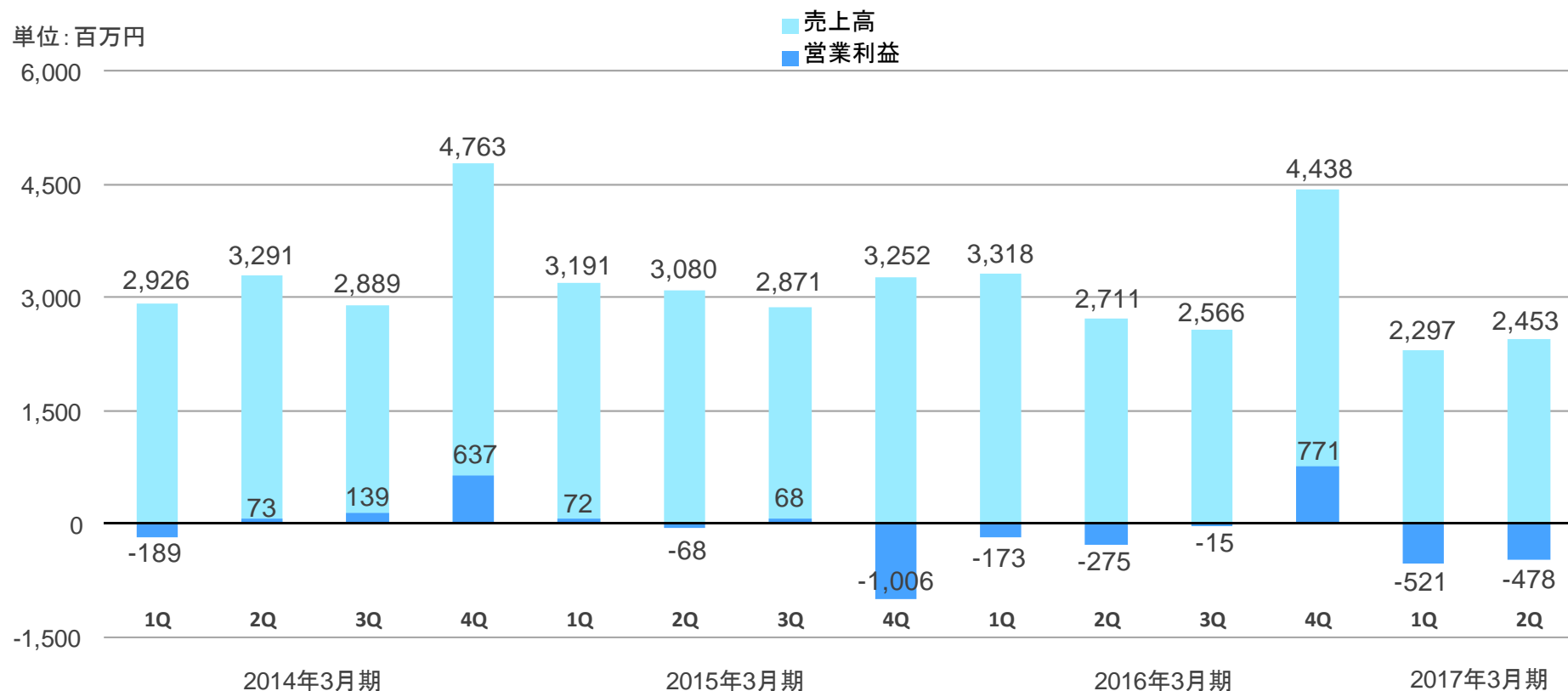
当社グループ概要

当社グループは当社、連結子会社4社および持分法非適用関連会社1社の計6社で構成
(2016年9月30日現在)

当社	社名	株式会社昭文社			
	創業	1960年5月			
	設立	1964年6月			
	社員数	393人(2016年3月31日現在)			
	上場市場	東京証券取引所 市場第一部			
	本社所在地	東京都千代田区麴町三丁目1番地			
	事業内容	当社グループは、独自開発による地図データ・ガイドデータを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売や、デジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスの提供等「地図・旅行情報提供事業」を展開しております。			
連結子会社	社名	キャンバスマップル株式会社	株式会社マップル・オン	株式会社昭文社デジタルソリューション	株式会社トリプコン
	出資比率	100%	100%	100%	100%
	事業内容	カーナビゲーション用 地図ソフトウェアの 開発・企画制作・販売	モバイル(携帯・スマートフォン) 向けアプリケーションソフトの 企画開発・販売及び Web広告事業	当社電子事業である データベースの企画・制作	旅行関連プラットフォーム 提供事業

四半期別売上高、営業利益の推移

売上高、営業利益ともに厳しい傾向が長期化



2017年3月期 上期 グループ主要トピックス

4 - 6月

7 - 9月

A

B

C

D

E

F

A 無料コミュニティアプリ『ことりっぷ』バージョンアップ (2016年 4/7発表)

- ・ガイド「ことりっぷ」の国内版に掲載の約1万件のスポット情報を説明文つきで収録
- ・当社が長年蓄積した観光データも収録



C 人気ガイドブック『ことりっぷ』国内版リニューアル (6/8発表)

- ・国内版18点を全面改訂
- ・ユーザーが教えてくれたスポットなどを情報更新に反映
- ・「和」をモチーフに表紙を刷新



B 台湾観光無料アプリ「DiGTAIWAN!」リリース (5/26発表)

- ・訪日外国人観光客向け無料観光アプリ「DiGJAPAN!」のプラットフォームを活用
- ・台湾でガイドブックなどを出版する大興出版社と共同でのサービス提供
- ・日本人のみならず、台湾を訪れる訪台客に向けて、5言語で提供(日本語、中国語[繁体字、簡体字]、韓国語、英語)



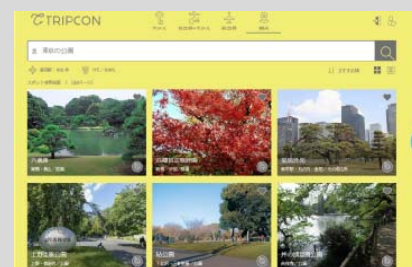
【本アプリの主な特長】

- ・台湾現地のガイドブック編集者が厳選した観光スポット情報を掲載
- ・事前にダウンロードしておけば、観光情報や地図をオフラインで閲覧可能
- ・台北、台中、高雄の三大都市を収録(※7月には3エリアを新たに追加)

D 「まっぷるリンク」累計500万DL突破 (7/25発表)

- ・当社旅行ガイドの読者限定無料アプリ「まっぷるリンク」が、6月末に累計500万ダウンロード¹を突破(1コンテンツのダウンロード数)
- ・500万ダウンロードを記念して、7月26日からフジテレビ系列の番組内でCMを放映

E 旅とおでかけの総合比較サイト「TRIPCON(トリプコン)」オープン (7/27発表)



- ・当社連結子会社の株式会社トリプコンが運営するホテル、フライト等の総合比較サイト「TRIPCON」がオープン

【サイトの特徴】

- ・話し言葉のような自然な文章で検索ができる「自然文検索」を採用
- ・全世界80万軒以上のホテルが検索可能
- ・全世界700万件以上の観光スポット情報を掲載

F 累計発行部数10万部のガイドブックの続刊『首都圏発 日帰り大人の小さな旅』特別編集版発売 (9/9発表)

- ・今回は首都圏から日帰りできる秋冬の大人のためのおでかけスポットを厳選



注意事項

本資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは発表日現在において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、多様な要因によって、これらの業績見通しと大きく異なる結果になりうることをご承知おき願います。

これらの業績見通しに全面的に依拠して、投資判断を行うことは控えられますようお願いいたします。